



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集

美心会だより

芸・武一体

2019年勝浦市文化祭午後の部は、プログラムが30分以上も遅れ、混乱のなか美心会の出番となった。

今回の演武は、楊式太極拳88式短縮Verと簡化太極拳24式・陳式太極拳のコラボ。



水墨画をバックに演武

楊式太極拳88式は、バックスクリーンに水墨画・書・写真を投影し作品と太極拳が一体化する演出。



行書「晨」を背負って演武

投影はフルスクリーンに設定していたが、映像担当のミスで映像が小さく表示されてしまった。

ミスにはミスが重なるもので、スタートの画面が4分4秒も飛び、途中で画像も音声もない異様な時間が28秒にも及んだ。さらに、慌てた担当者が映像を再スタートさせたものの頭出しから18秒も飛んでいた。このような大混乱にもかかわらず、演武者は一糸乱れず冷静に粛々と演武を続け、その姿に観客は大きな拍手を送っていた。



勝浦港が最後になって・・・！？

書（行書）は、川嶋毛古さん、水墨画は、高橋良江さんのご協力をいただいた。

太極拳コラボ



衣装替えして簡化太極拳

続いて表演されたのは、簡化太極拳24式と陳式太極拳のコラボ。これは簡化太極拳24式の後半の部分で半数の演者が陳式太極拳を演武し、ゆったりとした24式太極拳と激しい動きの陳式太極拳を比較して観てもらおうという演出でお互いの呼吸が試された。



左半分(写真)が陳式太極拳を演武